

訂 正

応用薬理, 93 (1/2), 7-11 (2017) 浜ら

特に LDL コレステロールが 140 mg/dL 未満の健常者に限定した統計解析による松樹皮抽出物含有錠剤
摂取が血清脂質 (LDL コレステロール) に及ぼす影響 (無作為化二重盲検プラセボ対照群間並行試験)

頁・行	誤	正	訂正理由
8 頁 既報 (草場ら, 2015) で用いられた試験データについての試験方法 1. 試験食品の 2 段落 1 行	松樹皮抽出物中の主成分である松樹皮由来プロシアニジン (プロシアニジン B1 として) は, 100 g あたり 40 mg 含有食品で 116 mg, 80 mg 含有食品で 246 mg であった.	松樹皮抽出物中の主成分である松樹皮由来プロシアニジン (プロシアニジン B1 として) は, 100 g あたり 40 mg 含有食品で 116 mg, 80 mg 含有食品で 246 mg であった. <u>なお, 松樹皮由来プロシアニジン (プロシアニジン B1 として) は, プロシアニジン B1 とプロシアニジン B3 をプロシアニジン B1 の標準品を用いて定量し, 合算している. この算出方法は, 既報に記載されているプロシアニジン B1 含量についても同様である.</u>	プロシアニジン B1 とプロシアニジン B3 の合算値であることを明確にするため。 なお, 草場ら, 2015、及び本報告は、池口ら, 2006 の試験データについて、それぞれ LDL-C が 160 mg/dL 未満、140 mg/dL 未満の者に限定した層別解析を行った報告であり、池口ら, 2006 におけるプロシアニジン B1 算出方法も同様である。(引用文献: 池口ら, 日本食品新素材研究会誌, 9(1), 26-36)